

スポーツ推進計画進捗状況(後期)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 スポーツ・運動を通じた市民健康活動の推進					
(1) 市民エンジョイ・ウォーキング事業					
① ウォーキングの普及、推進	▽スポーツサポートセンターのHPにて市内ウォーキングマップを紹介。 ▽11月:ふれあいの森総合公園にてノルディックウォーキング体験教室を開催。 ▽福岡県が提供する「ふくおか健康ポイントアプリ」を活用したウォーキングの普及事業についての検討を実施。	▽健康課と連携し、ふくおか健康ポイントアプリを活用した「つながりヘルスケア」事業を推進。 ▽スポーツ推進委員や明治安田生命生保レディーによるふくおか健康ポイントアプリへの加入促進。 ▽東郷地区でのアプリを活用した月例ウォーキングの開催(スポーツ推進委員モデル事業) ▽日里地区のオリンピック聖火リレーコースを使った「東京オリンピック2020聖火リレー記念ウォーキング大会」を1月8日に開催し、174名が参加。	▽市委託事業として「スポーツ推進委員活動モデルウォーキング事業」を玄海地区のスポーツ推進委員2名が受託。玄海のびのびウォーキングと銘打って9月から3月までの期間で実施。9月17日(土)にオリエンテーション(参加者17人)、10月8日(土)に第1回ウォーキングを実施済(参加者約25人)。11地区にも順次拡げていく予定。 ▽11月13日(日)に世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群登録5周年及び宗像市スポーツ協会設立40周年を記念し、11月13日(日)に「ふれあいウォーキング大会」を開催。参加者は227人(ショートコース142人、ロングコース85人)。	▽11月12日(日)に第2回ふれあいウォーキング大会を開催。参加者は189人(ショートコース99人、ロングコース90人)。 ▽玄海地区で、毎月1回「玄海のびのびウォーキング」を実施。(年間参加者114人)	▽市民の健康づくりと交流促進をサポートする「つながりヘルスケア事業」の取り組みとして、各スポーツ推進委員の選出コミュニティ内での活動実態に合わせて定例ウォーキングを実施する。 ▽日頃の成果の発表の場となるウォーキング大会を11月に開催する。
② 市民ウォーキング大会等の情報提供やコース整備の検討	▽11月:総合型地域スポーツクラブ「南の郷クラブ」が開催する南郷ぐるっと健やかウォークを市広報紙、Facebookにて告知予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 。 ▽2月:商工会青年部と連携したウォーキング大会「宗像ウォーキング」実施予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 。	▽11月:総合型地域スポーツクラブ「南の郷クラブ」主催の「南郷ぐるっと健やかウォーク」を市広報紙、Facebook等にて告知予定だったが、 新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止 。 ▽商工会青年部と連携したウォーキング大会「宗像ウォーキング」実施予定だったが、 新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止 。	▽市広報紙やホームページ、SNSの活用により、南郷ぐるっと健やかウォーク(南の郷クラブ主催)やふれあいウォーキング大会(市主催)などのウォーキング事業の情報発信を行った。	▽令和5年9月号むなかたタウンプレスやインターネットの活用(市ホームページ、SNS)により南の郷クラブ主催の南郷ぐるっと健やかウォークや市主催のふれあいウォーキング大会のウォーキング事業について広報を行った。	▽市広報紙やHP、SNS、ふくおか健康アプリ等を活用し、市主催ウォーキング大会や各コミュニティで開催するウォーキング大会の情報発信を行う。
(2) 大学、企業、地域等との連携による市民の健康活動の促進					
	▽各地区のコミュニティセンターや公民館等で開催されている健康づくり・運動教室の情報を収集し、スポーツサポートセンターのHPにて紹介。 ▽(有)エイコーウェルと連携し、自宅でも取り組めるトレーニング動画を制作、宗像市公式YouTubeにて公開。	▽市スポーツ協会加盟の単位協会に対して、傘下のスポーツクラブのHPやSNS等による部員の募集状況の調査を行い、その結果を受けスポーツサポートセンターのHPにおいて、当該クラブのHPやSNSへのリンクを掲載する予定。 ▽東京オリンピック2020聖火リレー記念ウォーキング大会において、新生堂薬局、第一生命と連携して、骨密度やインボディ、血管年齢等の健康測定等を行った。	▽ふれあいウォーキング大会において、新生堂薬局、明治安田生命と連携して、骨密度やインボディ、血管年齢等の健康測定等を行った。 ▽(有)エイコーウェルと連携し、体力測定や健康教室を開催した。 ▽スポーツ推進委員を核として自治会やコミュニティ運営協議会、市立学校等と連携し、体力測定やスポーツ活動を行った。 ▽スポーツ協会や市立学校と連携して学校開放事業に取り組み、身近にスポーツ活動が行える環境整備を行った。	▽第2回ふれあいウォーキング大会において、明治安田生命やエフコープと連携し骨密度測定や野菜摂取量の調査、大塚製薬や、よまばさと連携し熱中症啓発などを実施。ギョウワンの九州と連携も有り、参加者の募集、参加者との交流を行った。 ▽スポーツ推進委員を核として自治会やコミュニティ運営協議会、市立学校等と連携し、体力測定やポッチャ等のスポーツ活動等の指導を計82回、地域住民延べ2,742人、児童延べ4,509人に対して行った。(R5.12月末現在) ▽スポーツ協会や市立学校と連携して小学校の運動場や体育館、中学校の体育館において日々の学校開放事業に取り組み(参考:R4実績 延べ利用団体数9,937団体、延べ利用人数218,830人、延べ開放時間28,595.5時間)。 ▽新「城山中学校の開校に伴いこの施設において学校開放事業が実施されるよう条例の改正や運用体制の整備等の体制整備を行った。	▽市と連携協定を交わしている企業の協賛を得るなど、市主催ウォーキング大会を開催する。▽スポーツ推進委員を核として自治会やコミュニティ運営協議会、市立学校等と連携し、体力測定やスポーツ活動を行う。 ▽市民が身近にスポーツ活動が行えるよう、スポーツ協会や市立学校と連携して学校開放事業に取り組み。
(3) 市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立・運営					
	▽南郷地区コミュニティ内で活動する南の郷クラブの活動を支援。	▽文化スポーツ課職員がアドバイザーとして南の郷クラブの委員会へ参加し、情報提供等を通して活動を支援している。 ▽令和3年度は緊急事態宣言等の影響もあり、委員会開催は2回のみ。	▽南郷地区コミュニティ内で活動する南の郷クラブの活動を支援。	▽令和5年9月号むなかたタウンプレスやインターネットの活用(市ホームページ、SNS)により南の郷クラブの定期教室の案内(会員募集)や南郷ぐるっと健やかウォークのお知らせについて広報を行った。 ▽南の郷クラブ主催の南郷ぐるっと健やかウォークにおいて一部の資料作成や運営に携わる等の活動支援を行った。	▽総合型地域スポーツクラブ南の郷クラブの活動を支援する。
2 スポーツ・運動を通じたコミュニティ活動の活発化					
(1) コミュニティ・スポーツ交流事業					
	▽各コミュニティ内の住民を対象としてスポーツイベント等を実施予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 。	▽新型コロナウイルスの感染状況を考慮し事業は実施せず。	▽各地区コミュニティから推薦されたスポーツ推進委員がそれぞれの地区コミュニティの部会活動に参画して活発に活動が行えるよう、スポーツ推進委員や各地区コミュニティとの連携体制の維持に努めた。	▽必要に応じてコミュニティ運営協議会の事務局と協議や調整等を行い、スポーツ推進委員の各地区コミュニティでの活動が円滑に進むように努めた。	▽各地区コミュニティから推薦されたスポーツ推進委員がそれぞれの地区コミュニティの部会活動に参画して活発に活動が行えるよう、スポーツ推進委員や各地区コミュニティとの連携体制の維持に努めた。
(2) コミュニティ・スポーツ交流事業のサポート					
	▽スポーツ推進委員の2年の任期が間もなく終了するため、来期候補者の選定及び推薦を、各地区コミュニティ運営協議会に依頼。	▽各コミュニティ運営協議会から2名(赤間地区は3名、大島地区は1名)のスポーツ推進委員の推薦があり、合計24名の推進委員が着任した。	▽スポーツ推進委員と連携して、市のニュースポーツ用品の貸出しなどを通じて各地区コミュニティのスポーツを通じた交流事業に対して支援を行った。	▽スポーツ推進委員と連携して、ポッチャやバギー、スカットボール等の市のニュースポーツ用品の貸出しなどを通じて各地区コミュニティのスポーツを通じた交流事業に対して支援を行った。指導を行ったスポーツ推進委員の延べ人数は484人(R5.12月末現在)。	▽スポーツ推進委員と連携して、市のニュースポーツ用品の貸出しなどを通じて各地区コミュニティのスポーツを通じた交流事業に対して支援を行う。
(3) コミュニティ対抗スポーツ大会の開催					
	▽各地区の公民館活動担当部長で構成する実行委員会を中心として実施のグラウンドゴルフ大会とお手玉大会を支援する予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 。	▽例年開催している、コミュニティ親善交流グラウンドゴルフ大会及び、お手玉大会については、各実行委員の書面決議を行った結果、今年度も新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止となった。	▽例年開催している、コミュニティ親善交流グラウンドゴルフ大会及び、お手玉大会については、6月に実行委員会を開催。審議の結果、何等かの警報等の発令があった時点で中止と決議。7月6日に福岡コロナ警報発令。今年度も新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止となった。	▽スポーツ推進委員の全面的なサポート体制のもと令和5年11月3日(金祝)にコミュニティ親善交流グラウンドゴルフ大会が開催され、一般18チーム、世代間4チームの約200人の市民が参加した。	(予定なし 各地区コミュニティの担当部長の協議の結果、担当部長が開催するコミュニティ親善交流大会は廃止が決定された。)
3 子どものスポーツ機会の充実					
(1) スマイルキッズプログラム					
① 幼児期を対象とした支援	▽宗像市スポーツサポートセンターにて、親子を対象としたスポーツイベントを企画、実施予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施 。	▽宗像ユリックス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象にした親子プール教室を開催(1回目11/28、2回目3/27)。次年度の親子プールスタート事業につなげる予定。	▽昨年度に引き続き、宗像ユリックス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象にした親子プール教室(1時間/回)を開催。一定期間参加した子ども達を民間プールにつなげる。 7月30日(土)、8月27日(土)、10月9日(日)・23日(日)、11月6日(日)を実施済。 【今後の予定】11月27日(日)、12月11日(日)・25日(日)、1月15日(日)・29日(日)、2月12日(日)・26日(日) 今年度中に親子プール教室のプログラムを確立し、来年度以降も実施予定。 ▽サニックススポーツ振興財団と連携して、幼児を対象にしたタグラグビー教室を開催。	▽宗像ユリックス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象にした親子プール教室(1時間/回)を開催。一定期間参加した子ども達を民間プールにつなげる。 5月7日、14日、6月11日、18日、10月1日、8日、1月14日、2月18日、25日、3月10日、計10回参加者数88人(のべ参加者数) ▽サニックススポーツ振興財団と連携して、幼児を対象にしたタグラグビー教室を開催。	▽宗像ユリックス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象にした親子プール教室(1時間/回)を開催。一定期間参加した子ども達を民間プールにつなげる。 ▽サニックススポーツ振興財団と連携して、幼児を対象にしたタグラグビー教室を開催する。
② 小学生の体力向上支援	▽6～2月:小学3年生の児童を対象に、民間体操クラブ(Belle体操スクール)によるマット運動の指導を実施(計9校、41コマ指導) ▽8～10月:小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施。(計6校、563人指導) ▽9月:民間陸上クラブ(アローザル)による「速く走れるかけっこ教室」を実施。(82人参加) ▽9～2月:小学校の児童を対象に、民間陸上クラブ(アローザル)による陸上競技の指導(短距離走、跳躍種目他)を実施。(計7校、18コマ指導) ▽小学校の新たなカテゴリーにスポーツ推進委員を派遣。(計5校、8日間、39人派遣) ▽1～3月:4～6年生を対象とした多項目競技体験プログラム「トライMUNAKATA」を実施予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 。	▽6～2月:小学3年生の児童を対象に、民間体操クラブ(Belle体操スクール)によるマット運動の指導を実施。(計8校、35コマ指導) ▽8～10月:小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施。(計9校、514人指導) ▽4～11月:小学校の児童を対象に、民間陸上クラブ(アローザル)による陸上競技の指導(短距離走、跳躍種目他)を実施。(計5校、18コマ指導) ▽小学校の新たなカテゴリーにスポーツ推進委員を派遣。(計3校、4日間、18人派遣) ▽オリンピックレガシーの取り組みとして、小学4・5年生の女子を対象に女子ラグビーの育成普及を図ることを目的にトライMUNAKATAを3月実施予定(女子ラグビー教室の開催)であったが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、来年度に開催を見送る。	▽6～2月:小学3年生の児童を対象に、民間体操クラブ(Belle体操スクール)によるマット運動の指導を実施。(計10校、28コマ指導) ▽赤間小学校(残り4コマ)、玄海東小学校(2コマ)を実施予定 ▽6～10月:小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施。(計9校、473人指導) ▽5～6月:小学校の新たなカテゴリーにスポーツ推進委員を派遣。(計9校、22回、延べ76人派遣) ▽10月～3月:小学生女子ラグビー教室を小学3年生から6年生までを対象にオリンピックレガシー事業の一環として実施。参加者は8人。 ▽サニックススポーツ振興財団等と連携して、小学4年生を対象にタグラグビー教室を実施。	▽5～9月:小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施(10校、846人指導) ▽5～6月:小学校の新たなカテゴリーにスポーツ推進委員を派遣(14日間、96人派遣) ▽5～7月、9～11月:小学生女子ラグビー教室を小学3年生から6年生までを対象にオリンピックレガシー事業の一環として実施。参加者は8人。 5～7月、9～11月に月2回(毎回土曜日開催)実施。場所はサニックス玄海グラウンド ▽サニックススポーツ振興財団等と連携して、小学4年生を対象にタグラグビー教室を実施。	▽5～9月:小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施する。 ▽5～6月:小学校の新たなカテゴリーにスポーツ推進委員を派遣する。 ▽5～7月、9～11月:小学生女子ラグビー教室を小学3年生から6年生までを対象にオリンピックレガシー事業の一環として実施する。 ▽サニックススポーツ振興財団等と連携して、小学4年生を対象にタグラグビー教室を行う。
③ 中学校運動部活動の支援	▽冬季休暇中に市内中学校のうち希望する部活動に講師を派遣し、SAQ(スピード、アジリティ、クイックネス)トレーニングやコンディショニング・トレーニングなどの指導を実施。(計6コマ、163人参加)	▽12月27日に河東中学校などの指導を対象にスポーツ部活動指導者コーチングモデル事業を実施(テーマ:体幹と姿勢、身体の運動)。参加者10人 ▽市内小中学校の部活動・クラブ活動の実態調査を実施。	▽令和4年度福岡県地域運動部活動推進事業を受け、野球とバスケットボールをモデル競技として実践研究を行う。宗像市部活動改革検討協議会とワーキンググループを立ち上げ、実践研究を行った。検討協議会会議は2回実施(5/19、8/17)、ワーキンググループ会議は4回実施(6/23、7/28、9/27、11/18)。 ▽平日の運動活動支援(9月補正予算):平日の放課後に中学校部活動にトレーナーを派遣し、運動部活動加入者等を対象とした体幹、コンディショニング、フィジカルなどの基礎トレーニング(S&C)を実施。実施校は自由ヶ丘中学校、大島中学校の2校。	▽国の実証事業を活用し、競技種目は野球2クラブ、バスケットボール2クラブ、バレーボール、柔道の計6クラブで部活動地域移行に向けた研究を行う。 ▽中学校部活動休養日に中学校運動部活動全10種目のアカデミー教室「むなかたアカデミー教室」を開催。(グローバルアリーナに委託)。参加者225人。	▽国の実証事業を活用し、競技種目は野球、バスケットボール、バレーボール、柔道、剣道等を対象として、受血クラブの起ち上げ、運営の支援を行う。 ▽中学校部活動休養日に中学校運動部活動全10種目のアカデミー教室「むなかたアカデミー教室」を開催。(グローバルアリーナに委託)。また、統括コーディネーターを配置し活動場所の調整や参加者との連絡調整、指導者の確保などを行う。
④ 社会体育等における活動の支援	▽バドミントン育成教室及びソフトテニス育成教室を南の郷クラブにて実施。 ▽全国大会等参加費用補助制度実施。	▽バドミントン育成教室及びソフトテニス育成教室を南の郷クラブにて実施。 ▽全国大会等参加費用補助制度を引き続き運用。新型コロナウイルスの影響はあるものの、徐々に全国大会規模のスポーツ大会が開催されており、参加者には適切な審査のうえ、補助金を交付している。	▽バドミントン育成教室及びソフトテニス育成教室を南の郷クラブにて実施。 ▽全国大会等参加費用補助制度実施。申請件数59件(内成人0件)。	▽7月末にグローバルアリーナにて宗像スポーツフェスタを実施。アビス福岡の選手によるふれあいサッカー教室、コーチによるワンデースキルアップ教室を実施。 ワンデースキルアップ教室 対象:小学5年～中学2年生 参加者数:104 ふれあいサッカー教室 対象:小学生～中学生 参加者数:400人 ▽全国大会等参加費用補助制度実施。申請件数35件(内成人7件)(R6.3.1現在)。	▽中学運動部活動10種目において、中学生を対象(種目によっては小学生)にスポーツ大会・教室を開催する。 ▽全国大会規模以上のスポーツ大会に出場した市民に参加費用の補助を行う。
(2) スポーツ指導者体制の整備					
① スポーツ指導者の育成及び活動支援	▽指導者向けに講習会を実施予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施 。	▽河東中学校の運動部活動の指導者を対象に「中学校スポーツ部活動指導者コーチングモデル事業」を「体幹と姿勢、身体の運動」をテーマに実施した(12/27 参加者10人)。2回目については、新型コロナ感染症拡大の影響により中止。来年度に実施プログラムを確立させ、市内中学校で展開する予定。			▽グローバルアリーナやスポーツ協会など、関係団体と連携し、むなかたアカデミークラブの指導者や社会体育クラブの指導者を対象に指導者講習会を実施する。

スポーツ推進計画進捗状況(後期)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
②異種目間のスポーツ指導者のネットワーク化	▽講習会等を通じ異種目間の情報交換を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施。				
③小中一貫教育による体力向上に向けた教職員の共通理解	▽アクション福岡の運動能力評価表を活用し、校長会・保健体育研究会等で学園間の共通理解を図る。				

スポーツ推進計画進捗状況(後期)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4 ライフステージに応じたスポーツ・運動活動の推進					
(1) スポーツ未実施者等のライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施					
① 親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム	▽宗像市スポーツサポートセンターにて親子を対象としたスポーツイベントを実施予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施 。 ▽宗像市スポーツサポートセンターHPにて、自宅で親子でも取り組めるような運動プログラムを紹介。	▽宗像市スポーツサポートセンターにて、未就学児とその親を対象とした親子プール教室を開催(1回目11/28、2回目3/27)。次年度の親子プールスタート事業につなげる予定。※3(1)①再掲	▽昨年度に引き続き、宗像市リクリス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象とした親子プール教室(1時間/回)を開催。一定期間参加した子ども達を民間プールにつなげる。 7月30日(土)、8月27日(土)、10月9日(日)・23日(日)、11月6日(日)を実施済。 【今後の予定】11月27日(日)、12月11日(日)・25日(日)、1月15日(日)・29日(日)、2月12日(日)・26日(日) 今年度中に親子プール教室のプログラムを確立し、来年度以降も実施予定。※3(1)①再掲	▽宗像市リクリス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象とした親子プール教室(1時間/回)を開催。一定期間参加した子ども達を民間プールにつなげる。 5月7日、14日、6月11日、18日、10月1日、8日、1月14日、2月18日、25日、3月10日、計10回参加者数88人(のべ参加者数) ※3(1)①再掲	▽宗像市リクリス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象とした親子プール教室(1時間/回)を開催。一定期間参加した子ども達を民間プールにつなげる。 ※3(1)①再掲
② 20代、30代が参加できるスポーツ・運動プログラム	▽12月:宗像市スポーツサポートセンターにて、平日夜間の運動プログラム(ボクササイズ)を実施。 ▽健康課及び国保医療課等の庁内との関係各課と連携し、対象年代への働きかけを実施予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施 。	▽宗像市スポーツサポートセンターの土曜教室の中で、ワンコインで参加できるピラティスやストレッチボール教室を開催した。	▽宗像市スポーツサポートセンター教室で、平日だけでなく土曜日も教室を実施。若い世代も気軽に参加しやすいピラティスやストレッチボール教室などを行った。 ▽アビスが福岡と連携し宗像スポーツフェスタを実施し、そのイベントの1つとして、小学1～4年生とその保護者を対象としたサッカーイベント「ふれあいサッカー大会」を開催。参加者数:96人 ▽令和5年9月号むなかたタウンプレスやインターネットの活用(市ホームページ、SNS)により南の郷クラブ主催の南郷ぐるっと健やかウォークや市主催のイレイさんウォーキング宗像大会(主催)などのウォーキング事業の情報発信を行った。 ※1(1)②再掲	▽若者のスポーツ・運動に関する興味・関心を高めるため、トップアスリートとの交流等を通じて、生涯にわたってスポーツを楽しむ土台づくりを行う。 ▽宗像市スポーツサポートセンター教室で、平日だけでなく土曜日も教室を実施する。若い世代も気軽に参加しやすいピラティスやストレッチボール教室などを行う。	▽若者のスポーツ・運動に関する興味・関心を高めるため、トップアスリートとの交流等を通じて、生涯にわたってスポーツを楽しむ土台づくりを行う。 ▽宗像市スポーツサポートセンター教室で、平日だけでなく土曜日も教室を実施する。若い世代も気軽に参加しやすいピラティスやストレッチボール教室などを行う。
③ 全世代が参加できるウォーキング大会等の情報提供	▽宗像市スポーツサポートセンターHPにて、ウォーキング大会等の情報提供を実施。	▽ふくおか健康ポイントアプリの登録者数を増やし、お知らせ機能を使い、ウォーキング情報を提供。 (ふくおか健康ポイントアプリ登録者 1,834人 R4.2末時点)	▽市広報紙やホームページ、SNSの活用により、南郷ぐるっと健やかウォーク(南の郷クラブ主催)やイレイさんウォーキング宗像大会(主催)などのウォーキング事業の情報発信を行った。 ※1(1)②再掲	▽市広報紙やHP、SNS、アプリ等を活用し、市主催ウォーキング大会や各コミュニティで開催するウォーキング大会の情報発信を行う。 ※1(1)②再掲	▽市広報紙やHP、SNS、アプリ等を活用し、市主催ウォーキング大会や各コミュニティで開催するウォーキング大会の情報発信を行う。 ※1(1)②再掲
(2) コミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援					
	●南の郷クラブ ▽コミュニティに編入し活動を継続。 ▽例年開催しているウォーキングイベント等は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったが、教室はコロナウイルス対策をいっつつ実施している。 会員数(3/12現在) 116人(大人54人、子ども62人) 教室数10	南の郷クラブ ▽教室について、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の影響を受け、長い休止期間があったが、現在は対策を徹底しつつ教室を再開している。 会員数(R3.10現在) 98人(大人47人、子ども51人) 教室数10	南の郷クラブ ▽新型コロナウイルス感染症対策を行い教室を開催。 会員数(R4.10現在) 118人(大人44人、子ども74人) 教室数9(大人6、子ども3) ▽各地区コミュニティにスポーツ推進委員を派遣した。派遣スポーツ推進委員52人 延べ参加者数587人	南の郷クラブ ▽若者男女、大人から子どもまでスポーツ・運動・交流を楽しんでもらえるよう、高校生以上を対象としたヨガやバドミントン等、小・中学生を対象としたストリートダンスやソフトテニス等の教室を開催。 会員数(R6.2月現在) 124人(大人42人、子ども82人) 教室数11(大人7、子ども4) ▽各地区コミュニティにスポーツ推進委員を派遣した。延べ派遣スポーツ推進委員484人 延	▽各地区コミュニティのスポーツや運動の教室、事業等に必要講師の派遣等について、スポーツ推進に携わる関係機関と連携してコミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援を行う。
(3) 障がい者のスポーツ・運動活動の支援					
① 障がい者がスポーツに触れる機会の提供	▽市内の障がい者施設に指導者を派遣し、施設利用者及び職員を対象に運動プログラムを開催予定だったが、 新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施 。 ▽障がい者スポーツ用品(ポッチャ等)を市で保有し、自治会やコミュニティへの貸出を実施。	▽障がい者の「する」スポーツの受け皿の一つとして、ともに個人競技であるパラバドミントン、パラ水泳のチーム立ち上げに向けた取り組みを行う。 【パラバドミントン】 宗像市が東京パラリンピックのレガシーとしてパラバドミントンの日本代表選手団を受け入れ、さらにはサポートシティにもなっている。 【パラ水泳】 宗像市リクリスアクアドームにおいては、障がい者とその親を対象としたプール教室を既に実施している。	▽パラ水泳教室:宗像市リクリス・アクアドームにて、障がい者を対象とした水泳教室(1時間/回)を開催。7月16日(土)、30日(土)の2回実施。参加者は各回4人。 【パラバドミントン教室】 宗像市民体育館にて、パラバドミントン体験教室を開催。10月1日(土)に実施。参加者は5人。今後12月23日(金)、2月4日(土)開催予定。	▽パラ水泳教室:宗像市リクリス・アクアドームにて、障がい者を対象とした水泳教室(1時間/回)を開催。11月5日、12月3日、12月17日、1月14日、1月21日、2月4日、2月18日、3月2日。合計8回、参加者数20人(延べ参加者数)。 ▽パラバドミントン教室:日本パラバドミントン連盟と連携しパラバドミントン教室を開催。参加者7人。 ▽7/16～7/30の期間に宗像市リクリスで市主催のニュースポーツフェスを開催。障がい者を含め1,547人の来場者に対してポッチャやバグゴ、ターゲットゲーム、スカットボール、輪投げ等のニュースポーツのルールの説明や実際の使い方を指導した。	▽すべての市民を対象に、障がい者スポーツに日常的に触れる機会の提供に努める。 ▽パラ水泳教室:宗像市リクリス・アクアドームにて、障がい者を対象とした水泳教室(1時間/回)を開催する。 ▽パラバドミントン教室:日本パラバドミントン連盟やチームシタルフ、宗像市バドミントン協会等と連携し、プレーヤーづくりにつながるパラバドミントン教室を開催する。 ▽小学校やコミュニティに対して障がい者スポーツのポッチャの道具貸し出しや利用促進を行う。
② 障がい者スポーツ等の情報の提供	▽宗像市スポーツサポートセンターにて障がい者スポーツに関する種目やそのルール等の情報を収集。	▽パラバドミントン、パラ水泳のチーム立ち上げに向けた取り組みを行う中で、福岡県スポーツ協会 & 福岡県スポーツ振興センター(アクション福岡)と福岡県障がい者スポーツ協会(クローバーブラザー)へのヒアリングを行った。	▽パラバドミントン教室の開催について、障害福祉サービス事業所、障害通所支援事業所、相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所に対してメール配信を行い、情報発信を行う。	▽障がい者を対象としたスポーツ教室の開催において、障害福祉サービス事業所、障害通所支援事業所、相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所に対してメール配信をするなど、情報提供を行った。	▽障がい者を対象としたスポーツ教室の開催において、障害福祉サービス事業所、障害通所支援事業所、相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所に対してメール配信をするなど、情報提供を行う。
③ スポーツ・運動活動の支援	▽宗像市スポーツサポートセンターにて県や近隣市町村と連携し、スポーツや運動活動を実施したい障がい者に対し、HP等を通じて活動の場などの情報提供を実施。	▽宗像市障害者自立支援協議会に所属する障がい者施設に対して、障がい者のスポーツに関するアンケート調査を行った。			
5 宗像市スポーツサポートセンターを活用し、住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備					
(1) スポーツ資産の有効活用					
① 宗像市スポーツサポートセンターでのスポーツ資産情報の集約	▽市内の学校、スポーツ関係団体などが保有する様々なスポーツ資産情報を収集し、市民に分かりやすく情報を発信できるよう、スポーツサポートセンターHPの改修に取り組み中。	▽HPを開発しているスポーツ協会やスポーツクラブ、スポーツジムをリンクを張り、スポーツ資産情報の集約を図った。	▽宗像市スポーツサポートセンターのホームページにおいて集約したスポーツ資産情報を公開。	▽宗像市スポーツサポートセンターのホームページにおいて集約したスポーツ資産情報を公開。(中学生も参加できる地域クラブなど)	▽宗像市スポーツサポートセンターのホームページにおいて集約したスポーツ資産情報を公開する。
② 宗像市スポーツサポートセンターの機能の充実	▽市内にあるスポーツ資産をこれまで以上に幅広く活用できるよう、次年度以降の運営体制について協議、検討を実施。	▽市民体育館のスポーツサポートセンターでの体力テストや健康教室、小学生を対象とした体操教室や陸上教室、海洋性スポーツ体験に加え、個人でウォーキングなどの運動をしている市民を支援する「つながりヘルスケア事業」を開始するなど、スポーツサポートセンターの機能の充実を図った。	▽中学校の部活動改革の実践について研究開始。	▽中学校部活動の地域移行における受け皿づくりとして、野球クラブ、バスケットボール2クラブ、バレーボールクラブを新たに立ち上げ、中学生のスポーツ環境の充実を図った。また、市が主催となり宗像市立中学校の部活動10種目の教室(むなかたアカデミー教室)を部活動休養日に実施。参加者数:225人	▽中学校部活動の地域移行における受皿づくりや休日の部活動に代わる教室(スクール)を競技種目毎に開催するなど、子どものスポーツ環境充実に向け、スポーツサポートセンターがコーディネーターとしての役割を果たす。 ▽つながりヘルスケア事業を推進するに当たり、健康課と協働しながら事業を実施する。
③ 宗像市スポーツサポートセンターと宗像市スポーツ協会等との連携	▽宗像市スポーツ協会と、今後の連携に向けた協議を実施。	▽2023年度から開始となる「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」を受け、スポーツサポートセンターにおいて地域スポーツサイトから中学生の運動部活動の受皿づくりを進めるに当たり、市スポーツ協会との連携を図り、野球とバスケットボールにおける実践研究の取り組みを進めた。	▽宗像市スポーツ協会の40周年を記念して、宗像市スポーツサポートセンターが宗像市スポーツ協会と連携して、ウォーキング事業や市民親善ゴルフ大会、石川佳純47都道府県サックスツアーを開催。	▽中学校部活動の地域移行に伴い、受皿クラブの立ち上げを行う際、スポーツ協会や各単位協会と十分な調整や意向確認を行い、実証事業クラブの運営を支援した。	▽スポーツ協会と連携し、スポーツ協会会員をはじめとした社会体育クラブの指導者を対象に、スポーツ医学講習会等を実施する。
④ スポーツ推進委員との連携強化	▽定数25人 ▽各コミュニティに2人(赤間地区は3人)のスポーツ推進委員を配置。現在23人(任期2年の2年目)。	▽スポーツ推進委員の役割を見直し、「つながりヘルスケア事業」の担い手とし、ウォーキング大会への協力を行った。	▽毎月1回の定例会の開催。つながりヘルスケア事業におけるスポーツ推進委員活動モデルウォーキング事業やイレイさんウォーキング宗像大会での連携や協力のうえ、実施した。	▽定数24人 ▽各コミュニティに2人(大島地区は1人、赤間地区は3人)のスポーツ推進委員を配置。現在24人(任期2年の1年目)。 ▽①スポーツ推進委員が安心してボランティア活動に取り組めるよう定例会を毎月開催し、熱中症対策や救急救命などのスキルアップ研修を行った。 ②児童の体力向上に必要なデータを確実に収集できるよう、スポーツ推進委員と連携し、市立小学校の児童の体力測定を支援した。 ③プリンセス駅伝やグラウンドゴルフ大会、イレイさんウォーキングなどの市が主催するイベントでは連携を図り、実施した。	▽毎月の定例会や研修を通して、市とスポーツ推進委員のさらなる連携強化を図り、市民に対するスポーツの実践指導及び助言を行う。また、地域のスポーツ振興のコーディネーターとして、モデルウォーキング事業などを参考に各地区でスポーツやレクリエーション事業の企画・立案・実施などを行えるよう支援する。
⑤ 市内を本拠地とするトップチームの活用	▽宗像サンクスブルースが本市のグローバルアリーナで開催するトップリーグに多くの方が訪れるとともに、ファンクラブや市民応援団の会員促進につながるようにシャトルバスを運行(3月開催のみ)。 ▽コミュニティのイベントへの選手・スタッフの参加(新型コロナウイルス感染症の拡大により、まつり・健康教室は中止)。 ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進。	▽宗像サンクスブルースが本市のグローバルアリーナで開催するジャパンラグビーリーグワンの試合に多くの方が訪れるようにシャトルバスを運行した。 ▽各地区コミュニティのイベントへの選手・スタッフの参加(新型コロナウイルス感染症の拡大により、まつり・健康教室は中止)。 ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進。	▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進。	▽トヨタ自動車九州陸上競技部について、市民を挙げた応援や支援を行えるよう、後援会加入促進を行った。	▽市内を本拠地とするトップチーム(トヨタ自動車九州陸上競技部)について、地域の盛り上がりを作れるよう、後援会への加入促進や情報発信を行う。
(2) トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供(観る)					
	▽グローバルアリーナ開催を含めたラグビー・トップリーグの観戦情報を市広報誌やHPにて告知。(小中学生には全員配布) ▽宗像サンクスブルースが本市のグローバルアリーナで開催するトップリーグに多くの方が訪れるようにシャトルバスを運行(3月開催のみ)。 ▽コミュニティのイベントへの選手・スタッフの参加(新型コロナウイルス感染症の拡大により、まつり・健康教室は中止)。 ▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会の開催。	▽グローバルアリーナ開催を含めたジャパンラグビーリーグワンの観戦情報を市広報誌やHPにて告知。 ▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会の開催予定。(沿道での観戦は自粛) ▽11月:宗像サンクスブルースが本市のグローバルアリーナで開催する試合に多くの方が訪れるようにシャトルバスを運行した。	▽グローバルアリーナで開催されるラグビー・タムナカトコスとして、キッズラグビーに合わせたラグビーリーグワンのプレシーズンマッチ全石対九電を開催。 ▽10月に全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会の開催(今年度は沿道応援解禁)。 ▽石川佳純47都道府県サックスツアーにおいて市内小学生の鉄球教室、トークショーを実施し、トップアスリートの生のプレーを身近に見る機会を促進した。	▽地域等に元気を与え続けようとするトップスポーツのアスリートと連携して、スポーツで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにさまざまな制限を強いられた市民の、笑顔、元気を取り戻すため、子どもがスポーツの楽しさ、トップレベルの技術を観る機会の提供や、市民のスポーツを「する」「観る」「交流する」機会の充実、市民が身近にプロのスポーツを親しむことができる環境づくりとしてアビス福岡との連携事業を実施。アビス福岡の公式戦の1試合を「宗像市応援デー」とし宗像市民の無料招待を行った。(招待者数:小中高生226人、大人223人)また、試合開始前のイベント、試合中のボールパーソンを市内サッカーチームへ依頼を行い実施した。 ・エスコートキッズ:イルマール東郷・センターサークル:宗像セントラルフットボールクラブ	▽子どもがスポーツの楽しさ、トップレベルの技術を学べる機会の提供や、市民のスポーツを「する」「観る」「交流する」機会の充実、市民が身近にプロのスポーツを親しむことができる環境づくりに努める。 ▽トップスポーツの試合の観戦や、市民とトップアスリートとの交流等を通じて、子どもから大人まで幅広く多くの市民のスポーツ・運動に関する興味・関心を高め、生涯にわたってスポーツを楽しむ土台づくりに努める。合わせて、子どものトップアスリートを目指す機会の提供に努める。
(3) スポーツボランティアの活用・充実(支える)					
	▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会のボランティア参加を継続実施。	▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会のボランティア参加を継続実施。今年度から新たに福岡教育大学からの学生ボランティアが参加。	▽10月に全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会のボランティア参加を継続実施。今年度から新たに日赤看護大学からの学生ボランティアが参加。 ▽2月に石川佳純47都道府県サックスツアーにおいて市卓球協会や市内中高生がボランティアで運営に参画した。	▽7/16～7/30の期間に宗像市リクリスで開催した市主催のニュースポーツフェスにおいて、スポーツ推進委員延べ56人の全面的なサポート体制のもとで、1,547人の来場者に対してポッチャやバグゴ、ターゲットゲーム、スカットボール、輪投げ等のニュースポーツのルールの説明や実際の使い方の指導を行っていただいた。 ▽10月22日(日曜)に開催されたプリンセス駅伝(全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会)において、市民や日里、東郷、玄海地区の地域、スポーツ推進委員、スポーツ協会、福岡教育大、日赤看護大、東海大福岡高、宗像高、玄海中、交通安全協会、トヨタ自動車九州の計444人がボランティアで大会運営のサポートを行っていただいた。	▽多くの市民がスポーツを支える市民ボランティアとしてより実感が湧くようスポーツ団体やコミュニティと連携するとともに、様々な媒体を活用した募集案内を行う。

スポーツ推進計画進捗状況(後期)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(4) トップアスリートとの交流事業の実施(交わる)	<p>●宗像サニックスブルース 11月～:選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施(幼稚園1・保育園3)※緊急事態宣言により2保育園中止</p> <p>●トヨタ自動車九州陸上競技部 3月:小・中学生を対象としたランニングイベントでの選手による支援(今後の状況を鑑みて検討の結果、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて実施せず)</p> <p>●オリンピック・パラリンピック 10月:オリンピック・キャンプ誘致に伴う海外代表選手と市内小学校において、オンライン交流を実施。</p>	<p>●宗像サニックスブルース 選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施(幼稚園4・保育園3)</p> <p>●トヨタ自動車九州陸上競技部 3月:小・中学生を対象としたランニングイベントでの選手による支援(新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて実施せず)</p>	<p>●宗像サニックスブルース 選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施</p> <p>●オンラインとの交流事業 石川佳純47都道府県サックスツアーを実施(実技指導小学生4～6年:62人、ボランティア65人、一般観覧者1,000人)</p>	<p>▽サニックススポーツ振興財団による幼児園ラグビー訪問教室を9保育園にて実施。小学4年生へのタグラグビー出前授業を市内全小学校にて実施。</p>	<p>▽子どもがスポーツの楽しさ、トップレベルの技術を学べる機会の提供や、市民のスポーツを「する」「観る」「交流する」機会の充実、市民が身近にプロのスポーツを親しむことができる環境づくりに努める。</p> <p>▽トップスポーツの試合の観戦や、市民とトップアスリートとの交流等を通じて、子どもから大人まで幅広く多くの市民のスポーツ・運動に関する興味・関心を高め、生涯にわたってスポーツを楽しむ土台づくりに努める。合わせて、子どものトップアスリートを目指す機会の提供に努める。</p> <p>※5(2)再掲</p>
6 スポーツ観光による地域経済活性化	(1) 全国・九州レベルのスポーツ大会の誘致・開催支援				
	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施。</p>	<p>▽新型コロナウイルスの感染状況を考慮し未実施。</p>	<p>▽ワールドユースラグビー大会やハンドボール大会、新体操サニックスカップ等の全国レベルのスポーツ大会の誘致支援を行った。</p>	<p>▽日本実業団陸上競技連合等との協議・調整によりプリンセス駅伝(全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会)が10月22日(日曜)に開催。▽ワールドユースラグビー大会やハンドボール大会、新体操サニックスカップ等の全国レベルのスポーツ大会の誘致支援を行った。</p>	<p>▽全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会をはじめとした全国の代表で競う実業団、インターカレッジ、インターハイスクールや各種小・中学生大会等の宿泊を伴う大会の誘致を行う。</p>
	(2) スポーツ合宿の誘致活動の支援				
①合宿・研修会の誘致活動の支援	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施。</p>	<p>▽新型コロナウイルスの感染状況を考慮し未実施。</p>	<p>▽日本ラグビー界で活動するマツダスカイアクティブズ広島、釜石シーウェイブスのキャンプ誘致活動の支援を行った。</p>	<p>▽新たな海外や大学のスポーツクラブ等の合宿に係る誘致活動についても支援を行い、今年度は三重県の女子ラグビーチームの合宿誘致を行った。</p>	<p>▽市の地域資源であるスポーツ施設等を活用し、「市民がトップスポーツを身近に観戦できるまち」「市民がトップアスリートと交流できるまち」が持続できるよう、トップアスリートのキャンプを本市に誘致する活動の支援を行う。また、新たな海外や大学のスポーツクラブ等の合宿に係る誘致活動についても支援を行い、スポーツ観光による地域経済活性化に取り組む。</p>
②「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のキャンプ地受入	<p>●誘致活動 ▽オリンピック・キャンプ受入れは新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。10月にブルガリア柔道の選手と児童とでオンライン交流を実施。</p> <p>●啓発事業 ▽2月:聖火展示を日の里中学校にて実施。(新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中であったため、一般観覧は中止) ▽2月:自由ヶ丘小学校6年生とともに、ブルガリアホストタウンの横連携事業を実施。</p>	<p>●誘致活動 ▽7月:東京2020オリンピックに向けて、ロシア(ROC)7人制女子ラグビー選手団、ブルガリア柔道選手団の事前キャンプ受入れ実施。ブルガリア柔道選手団と市内小学校児童が授業の一環としてオンラインにて交流実施。(ロシア7人制女子ラグビー選手団は公開練習を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、中止)</p> <p>●レガシー事業 ▽9月末～3月:市立学校21校で「心に残るレガシー巡回展示」を実施。市立小中学校において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連の品を巡回展示。 ▽11月、2月:ブルガリア音楽の聴食を実施(小学校6校、中学校1校)。本市のホストタウン相手国であるブルガリアのプロの演奏家から、音楽を提供してもらい、子どもたちがブルガリア料理の給食を食べ、音楽を聴き、ブルガリアの文化に触れる取組みを実施。 ▽2月:ブルガリアとのWEB会議を利用した交流(小学校4校)を実施。 ▽3月:ブルガリアとの市民交流事業を実施。</p>	<p>ブルガリア交流事業 大島学園、日の里東小、自由ヶ丘小学校とカザンラック民族舞踊団とのオンライン交流。</p> <p>オリンピック、ロシア7人制女子ラグビー選手団の事前キャンプ受け入れのレガシー事業として小学生女子のラグビー教室開催。</p>	<p>▽グローバルアリーナで開催されるブルガリアフェスティバルにおいて来日するカザンラック民族舞踊団やサニックスCup国際新体操団体選手権で来日するブルガリア・レフスキー新体操クラブとのホストタウン交流等、市民交流を実施した。 ・カザンラック民族舞踊団交流実績 福岡教育大学(9月17日)、宗像中学校(9月21日)、市内幼稚園(9月22日)、体操クラブ(9月22日)、赤間宿祭ステージ出演(9月23日) ・レフスキー新体操クラブ 日の里小学校(11月16日)、体操クラブ(11月20日、21日)、市内幼稚園(11月21日)</p>	<p>▽東京2020オリンピック・パラリンピック(以下「大会」)を契機に、大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進するため、内閣官房による登録を受けた地方公共団体(以下「ホストタウン」)である本市が、相手国であるブルガリア共和国との文化的な交流事業の一環として、グローバルアリーナで開催されるブルガリアフェスティバルにおいて来日するカザンラック民族舞踊団やサニックスCup国際新体操団体選手権で来日するブルガリア・レフスキー新体操クラブとのホストタウン交流等、市民交流を進める。</p>
(3) 宿泊や市内周遊につながるスポーツ大会の開催・支援	<p>▽コロナ禍におけるスポーツ観光について、日本赤十字九州国際看護大学の協力のもと、調査研究を実施。</p>	<p>▽コロナ禍におけるスポーツ観光について、日本赤十字九州国際看護大学の協力のもと、調査研究を実施。 ▽調査研究をさらに深化させるため、グローバルアリーナ、日本赤十字九州国際看護大学等で連携した調査、協議を継続中。 ▽むなかたキッズセブンラグビー大会で小学4年生が宿泊を行った。</p>	<p>▽むなかたキッズセブンラグビー大会で小学3、4年生が宿泊を行う。</p>	<p>▽小学3～4年生を対象とした「むなかたキッズセブンラグビー大会」を11月に開催。(参加選手数:1237人市内宿泊者数:1069人) ▽スポーツ観光による地域経済活性化を図るため、市内で行われる宿泊を伴うスポーツ大会の開催に要する経費の助成を行った。 ・GAラグビーフットボールフェスティバル2023(市内宿泊者数:1336人) ・サニックスカップ U-17国際ハンドボール交流大会2023(しない宿泊者数:781人) ・第7回 アビス福岡アカデミーカップ U-13大会(市内宿泊者数:388人) ・サニックスワールドラグビーユース交流大会2024 予選会(市内宿泊者数:3563人) ・もつ鍋仙頭杯 第16回アビス福岡アカデミーカップ U-14(市内宿泊者数:612人)</p>	<p>▽地域経済活性化を図るため、市内で行われる宿泊を伴うスポーツ大会の助成を行い、市内への訪問者の増加、市内周遊者の増加を目指す。</p>
(4) むなかたスポーツコミッション(仮称)の体制の確立	<p>▽8月に(株)グローバルアリーナと「スポーツを通じた地域振興に関する協定」を締結し、宗像市版スポーツコミッションを立ち上げた。9月～グローバルアリーナ等と宗像市スポーツコミッション推進協議を開催(月1回実施)。</p>	<p>▽10月:新型コロナウイルスの影響により開催出来ていなかった推進会議について、緊急事態宣言の解除を受け再開。月1回会議を行い、スポーツコミッションの体制確立に向け協議を行った。 11月:むなかたキッズセブンラグビー大会において、ブルースの試合観戦チケットを抽選で3チーム(1チームあたり大人5名、子10名)招待。参加チームへ、道の駅むなかたの割引クーポン券や観光情報を配布。 その他:成人式やウォーキング大会などのイベント時にブルースや観光情報のチラシを配布。</p>	<p>▽11月:むなかたキッズセブンラグビー大会と同じに、ジャパンラグビーリーグワンのプレシーズンマッチをむなかたラグビーフェスと題して実施予定。 ▽ラグビータウンであり続けることができるよう、日本ラグビー界で活動する企業チームのキャンプ地として選ばれ続けられるよう新たな体制の構築を開始。 ▽全国にLive放送されるプリンセス駅伝が開催し続けられることができるよう、また、この事業を通じて宗像市の魅力を伝えることができるよう、新たな体制の構築を開始。</p>		
7 スポーツ活動の場の確保	(1) 既存の3つの市営体育館施設の運営				
	<p>▽閉館日の体育施設をスポーツ推進委員研修会等にて使用。</p>	<p>▽閉館日の体育施設をスポーツ推進委員研修会等にて使用。</p>	<p>▽勤労者体育館を9月まで新型コロナウチン接種会場として使用。 ▽保全計画に基づき、市民体育館の床等の改修を行う。</p>	<p>▽体育施設に係る条例に則って指定管理者(スポーツ協会)と連携して体育施設の運営を行った。調査研究に関しては「8」を参照。 ▽参考:R4年度実績 利用者数(延べ) ・市民体育館 126,675人 ・玄海B&G 17,632人 ・動体 9,742人 ▽修繕状況 ・市民体育館:防火シャッター、非常灯照明、危害防止装置、避難誘導灯回路、照明器具のケーブルラック、自動ドア、雨漏り多目的室の器具庫、内壁タイル、空調、手洗い、窓のクレセント錠、トイレ漏水 ・玄海B&G:トイレ排水、カーテンレール、カーテン開閉、横格子枠 ・動体:天井の割れ、軒天裏塗装剥離、雨漏</p>	<p>▽既存の3つの市営体育館施設の適切な運営に努める。</p>
	(2) 学校開放施設の運営				
	<p>▽宗像市スポーツ協会、教育政策課、学校管理課と連携しながら学校施設の開放事業を実施。 ▽新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて臨時閉館していたが、再開に向けて学校管理課と協議を行い、安全にスポーツ活動を実施するためのマニュアルを作成し、利用者に周知を行った。</p>	<p>▽宗像市スポーツ協会、教育政策課、学校管理課と連携しながら学校施設の開放事業を実施。 ▽緊急事態宣言の影響により、長期間閉館となっていたが、宣言解除に伴い開放再開。利用者には消毒等の徹底を周知し、十分な感染対策を取りながら、運動・スポーツ環境を提供した。</p>	<p>▽宗像市スポーツ協会、教育政策課、学校管理課と連携しながら学校施設の開放事業を実施。 ▽新型コロナウイルス感染症対策による閉館対応はなし。利用者には消毒等の徹底を周知し、十分な感染対策を取りながら、運動・スポーツ環境を提供した。</p>	<p>▽学校施設開放に係る条例に則って各学校、学校管理課、委託業者(スポーツ協会)と連携して学校施設の開放を行った。調査研究に関しては「8」を参照。 ▽参考:R4年度実績 利用数(延べ) ・利用団体 9,937団体 ・利用人数 218,830人 ・利用時間 28,595.5時間</p>	<p>▽学校開放事業の適切な運営に努める。</p>
	(3) 市内のスポーツ施設の活用				
	<p>▽多種目体験プログラム「トライMUNAKATA」において宗像シティポータルにてボウリング競技の指導を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。</p>	<p>▽今後のスポーツサポートセンターの在り方をまとめる中で、スポーツ資産の活用についても整理する。</p>		<p>(調査研究に関しては「8」を参照)</p>	
	(4) 近隣市町のスポーツ施設の相互利用				
	<p>▽「福岡都市圏スポーツ施設広域利用案内」を宗像市スポーツサポートセンターのHPに掲載し、近隣市町のスポーツ施設情報を発信。</p>	<p>▽市内スポーツ施設は空き状況の検索や予約申込をインターネット上で行うことができるようになっており、広域での利用がしやすい環境が整っている。</p>		<p>(調査研究に関しては「8」を参照)</p>	

スポーツ推進計画進捗状況(後期)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
8 中核拠点となる施設の再構築と整備					
(1) 体育館施設の整備	<p>▽B&G財団からの助成を受け、玄海B&G海洋センターの照明LED化、外壁の改修工事を実施。</p> <p>▽勤労者体育センターの照明LED化、トイレの洋式化等の改修工事を実施。</p> <p>▽既存の3つの市営体育館について、保全計画を策定。</p>	<p>▽今後の体育施設の在り方について、アセットマネジメント推進室等との協議を行い、方向性の協議を継続して行っている。</p>	<p>▽保全計画に基づき、宗像市民体育館のカーテン、フローリング床の改修工事を実施中。</p>	<p>▽市民体育館の火災報知機について、耐用年数経過により稼働しなくなる可能性があったため、保全計画に基づき改修工事を行った。</p> <p>▽右記の調査が行えるよう、庁内の関係者への説明、調整、実施計画の策定、予算の要求、業務開始準備を行った。</p>	<p>▽市民体育館、玄海B&G、勤体及び弓道場については供給開始から40年、アクアドームについては30年を超過しており、現在老朽化が進行。市民が安全・安心にこれらの社会体育施設を利用するためには10年以内に老朽化対策が必要な状況。</p> <p>一方、本市の社会環境は大きく変化しており、少子高齢化がさらに進むことや人口の減少が見込まれていることから、市民一人当たりの公共施設の面積の削減の検討も必要な状況。</p> <p>これらの本市を取り巻く社会環境を踏まえた上で、スポーツや運動、防災、健康づくり等に関する施策の着実な推進のために、市民の社会体育施設の利用状況等の現状把握を行い、最良の対応策を講ずる。</p>
(2) 屋外スポーツ関連施設の整備	<p>▽宗像中央公園野球場の改修について、設計を実施予定。スポーツ振興くじ助成金に申請しており、採択された場合は令和3年度に改修工事を行う予定。</p> <p>▽宗像中央公園野球場の改修について、実施設計を作成中。</p> <p>▽運動広場野球場について、近隣住居への飛球を防ぐため、レフトフェンスの嵩上げ等改修工事を実施中。</p>	<p>▽宗像市運動広場野球場の改修を行い、近隣住居への飛球を防止するため、レフトフェンスの嵩上げ工事を実施した。併せて、中央公園野球場が利用できない期間の代替球場として、老朽化部分の改修工事を行った。</p> <p>▽改修工事については、スポーツ振興くじ助成を活用して実施した。</p>	<p>▽宗像中央公園野球場の改修工事の完成。スポーツ振興くじ助成を活用して実施した。</p> <p>▽ふれあいの森総合公園のスケートボード場の改修工事の計画及び実施中。</p> <p>▽宗像中央公園野球場追加工事で、音響設備と防護マットの設置工事を実施。</p>	<p>▽供給開始から28年経過の明天堂公園野球場において、外野の防護マットの損傷が著しく利用者にとって危険な状況であったため、公園施設長寿命化計画に基づき改修工事を行った。</p> <p>▽ふれあいの森総合公園において「カシノナガキムシ」によるナラ枯れの被害の拡大が確認され、遊歩道に向かって倒木する可能性が極めて高い被害木の伐採を行った。</p>	<p>▽公園施設長寿命化計画に基づき、市民が安全に利用できるよう保全改修を行う。</p>
(3) 民間スポーツ施設の活用	<p>▽民間スポーツ施設の活用方法について検討</p>	<p>▽民間スポーツ施設と連携し、東京2020オリンピック競技大会の事前合宿受入を実施。</p>		(調査研究に関しては「8」を参照)	
(4) 宗像ユリックスのスポーツ施設	<p>▽保全改修計画に基づき修繕などを実施</p>	<p>▽保全改修計画に基づき修繕などを実施している。</p>	<p>▽R5～R25年を期間とした新しい保全計画及び長寿命化計画をR4年度中に策定(現在作業中)</p> <p>▽テニスコート、屋外バスケットゴール(3on3)、バッドゴルフ場については、整備計画に準じてR5年度に改修する計画で調整中</p> <p>▽アクアドームについては、長寿命化が困難であるため、今後の存続を含めて協議を行っていく予定。なお、スポーツ推進審議会が協議の対象にしていただけのかを、審議会に投げかけている状態(結論はR4年度中)</p>	<p>テニスコートの人工芝の劣化が進み、プレーに影響を及ぼす状態になっていた。利用者が安全に楽しくプレーできるように全8面コートの人工芝改修工事を実施し、2月に完成した。</p>	<p>宗像ユリックス南側ゾーンの活用やアフターコロナによるアウトドアブームの拡大に伴い、芝生広場の周囲コースの整備予定。</p>